

令和6年度

宮崎県の歯と口の健康づくりに関する施策の実施状況について



※ 図表のデータは直近値を記載しています。(R7年6月現在)

1 ライフステージに応じた歯科保健対策の推進

乳幼児期・学齢期

<課題>

- 12 歳児のむし歯のない者の割合を増やし、市町村間における歯の健康格差を縮小させる必要があります。

指標目標：12 歳でむし歯のない者の割合が 90%以上の市町村を増やす（乳歯及び永久歯）
（R11 年度までに 6 市町村）

- むし歯予防に有効なフッ化物塗布やフッ化物洗口などのフッ化物応用の機会を増やす必要があります。

指標目標：フッ化物洗口に取り組む小学校の割合を増やす（R11 年度までに 90%）
フッ化物洗口に取り組む中学校の割合を増やす（R11 年度までに 70%）

- 乳幼児期及び学齢期における「噛む・飲み込む」などの適切な口腔機能の発達に関する事業を実施する市町村を増やす必要があります。

指標目標：乳幼児期の口腔機能の獲得に関する事業を実施している市町村を増やす（R11 年度までに全市町村）
学齢期の口腔機能の維持・向上に関する事業を行っている市町村を増やす（R11 年度までに全市町村）

表1 3 歳児で 4 本以上のむし歯のある歯を有する者の割合の推移（%）

年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5
宮崎県	6.4	5.9	6.2	5.3	5.5	4.1
全国	4.0	3.6	3.5	3.0	2.5	2.2

（出典）地域保健・健康増進事業報告（厚生労働省）

表2 3 歳児で咬合異常のある者の割合の推移（%）

年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5
宮崎県	9.7	9.5	8.9	13.6	13.6	15.5
全国	13.2	14.0	14.7	15.2	16.1	16.4

（出典）宮崎県母子保健事業実績報告（宮崎県健康増進課）
地域保健・健康増進事業報告（厚生労働省）

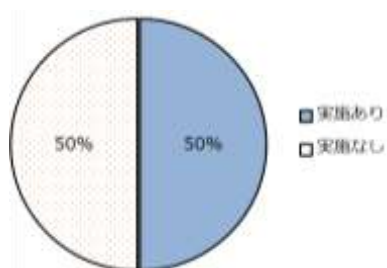


図1 乳幼児期の口腔機能の獲得に関する事業を実施している市町村の割合

（出典）令和5年度口腔機能の獲得に関する事業の実施状況調べ（宮崎県健康増進課）

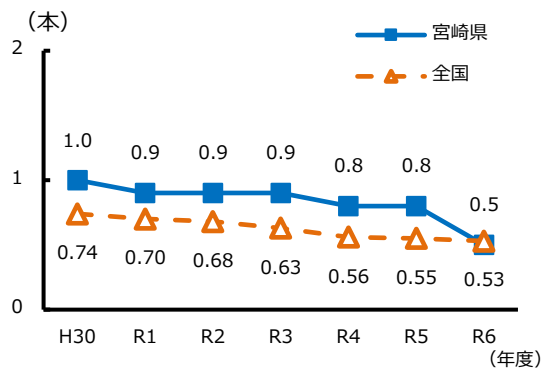


図2 12歳児一人平均むし歯数の推移
(出典) 学校保健統計調査 (文部科学省)

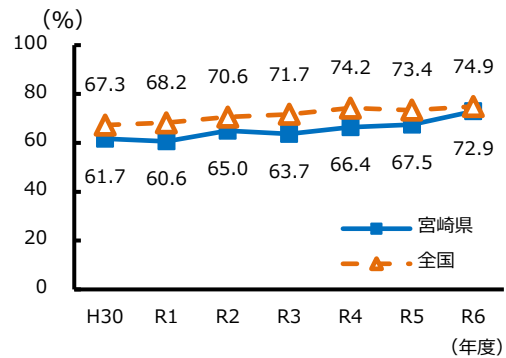


図3 12歳児むし歯のない者の割合の推移
(出典) 学校保健統計調査 (文部科学省)

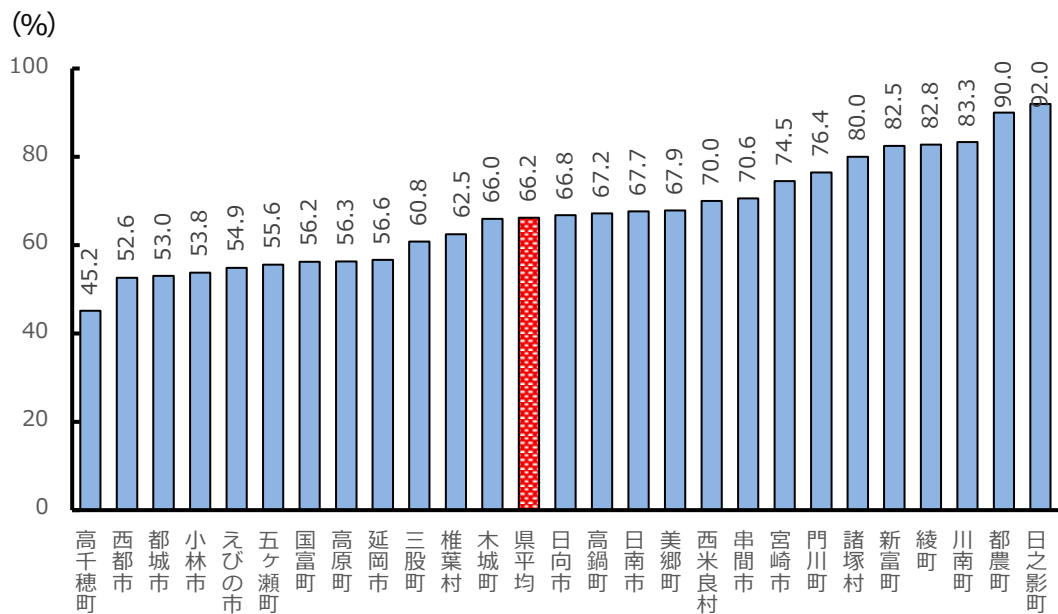


図4 令和5年度12歳児のむし歯のない者の割合 (乳歯及び永久歯)
(出典) 宮崎県の学校における歯科保健統計 (宮崎県健康増進課)



図5 年1回以上、歯科専門職*による歯科保健指導を実施している小学校の割合の推移 ※ 歯科医師、歯科衛生士
(出典) 平成16、23年度県民健康・栄養調査 (宮崎県健康増進課)
平成29、令和4年度学校における歯科保健指導についてのアンケート調査 (宮崎県健康増進課)

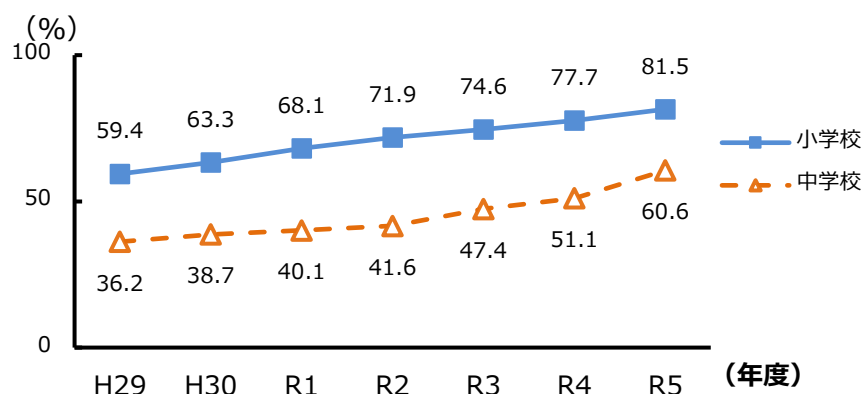


図6 小学校、中学校におけるフッ化物洗口実施状況の推移
 (出典) 市町村歯科保健事業実施状況調べ (宮崎県健康増進課)
 集団応用でのフッ化物洗口状況の実態調査 (宮崎県健康増進課)
 ※ 私立、国立の学校等、市町村が直接関与していない施設も含みます。分校は1校として計上しています。

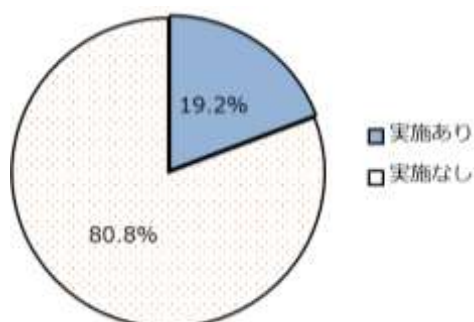


図7 学齢期の口腔機能の獲得に関する事業を実施する市町村の割合
 (出典) 令和5年度口腔機能の獲得に関する事業の実施状況調べ (宮崎県健康増進課)

<R6年度に実施した主な事業>

(1) 歯科疾患予防対策事業

① フッ化物応用促進事業 (株式会社 MRT アド委託)

フッ化物の応用によるむし歯予防方法についての正しい情報を周知し、県民の歯と口の健康に対する興味を喚起するとともに県民の歯と口の健康づくりを推進しました。

■ クリアファイルの作成、配布 11,000部 (県内小学校新1年生)



②若い世代の歯と口の健康づくりサポート事業（宮崎県歯科衛生士会委託）

若い世代（高校、大学、事業所等）等に対し、歯と口の健康づくりやフッ化物応用によるむし歯予防に関する情報提供及びむし歯予防、口腔ケア等について指導を行い、歯・口腔の健康増進を図りました。

■実施回数：9回 613名

（県立宮崎工業高等学校（全日制）、県立宮崎工業高等学校（定時制）、宮崎保健福祉専門学校、都城看護専門学校、県立産業技術専門学校、豊心福祉学園、クラーク記念国際高等学校宮崎キャンパス、都城コアカレッジ、県立富島高等学校）



③フッ化物洗口技術支援事業

フッ化物洗口推進のため、市町村や学校等に対し専門的支援を行いました。

■宮崎県フッ化物洗口マニュアル（第2版）配布



成人期（妊娠期を含む）・高齢期

<課題>

- 進行した歯周炎を持つ者の割合を減らす必要があります。

指標目標：進行した歯周炎を持つ者の割合を減らす（R11 年度までに 25-34 歳を 40%、35-44 歳を 50%、45-54 歳を 50%）

- 妊産婦の歯科健診を行っている市町村を増やす必要があります。

指標目標：妊産婦の歯科健診を行っている市町村を増やす（R11 年度までに全市町村）

- 50 歳以上における咀嚼良好者の割合を増やす必要があります。

指標目標：50 歳以上における咀嚼良好者の割合を増やす（50～74 歳）（R11 年度までに 85%）

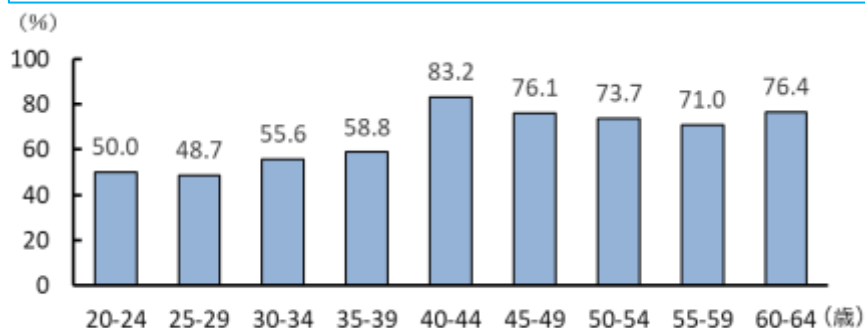


図8 進行した歯周炎を持つ者の割合の推移

（出典）令和4年度宮崎県歯科医療関係患者調査（宮崎県健康増進課）※ 4mm以上の歯周ポケットがある

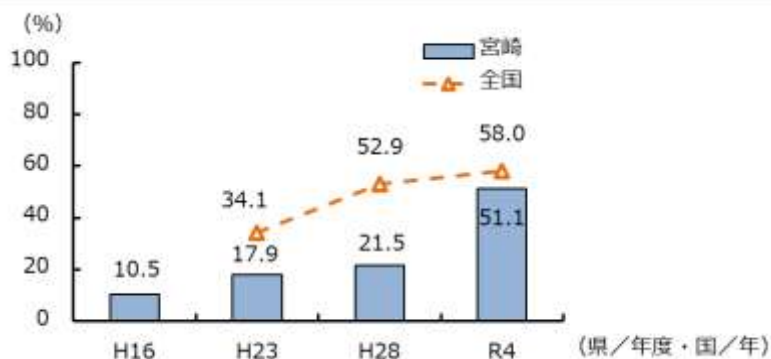


図9 定期的に歯科健診に行っている者の割合の推移

（出典）宮崎：県民健康・栄養調査（宮崎県健康増進課）

全国：平成24、28年国民健康・栄養調査（厚生労働省）

令和4年歯科疾患実態調査（厚生労働省）※ 全国値、H23年の34.1%はH24年の値

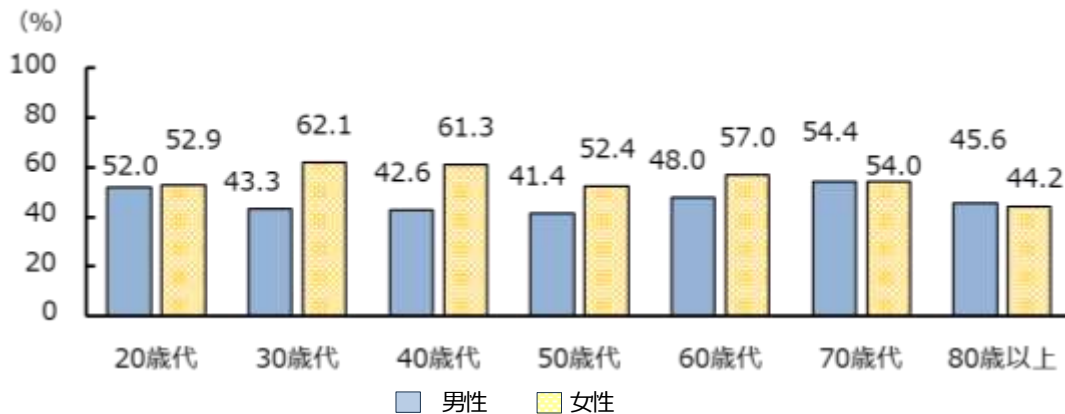


図10 定期的に歯科健診に行っている者の割合（年齢別）

（出典）令和4年度県民健康・栄養調査（宮崎県健康増進課）

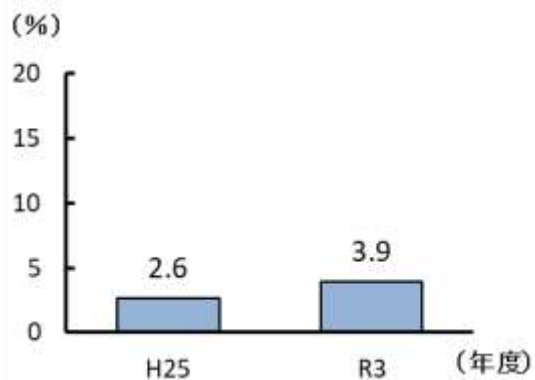


図11 歯科健診を実施している事業所の割合の推移
（出典）成人期の歯科保健に関するアンケート調査
（宮崎県健康増進課）



図12 50歳以上における咀嚼良好者の割合
（50～74歳）※

（出典）宮崎県：NDB データ（50～74歳）

全国：国民健康・栄養調査（50歳以上）※ 年齢調整値

表3 市町村が実施する成人歯科健診（歯周疾患検診）受診率の推移（%）

年度	H30	R1	R2	R3	R4
宮崎県	4.1	3.5	3.9	4.7	4.7

（出典）歯科保健医療に関するオープンデータ（厚生労働省）

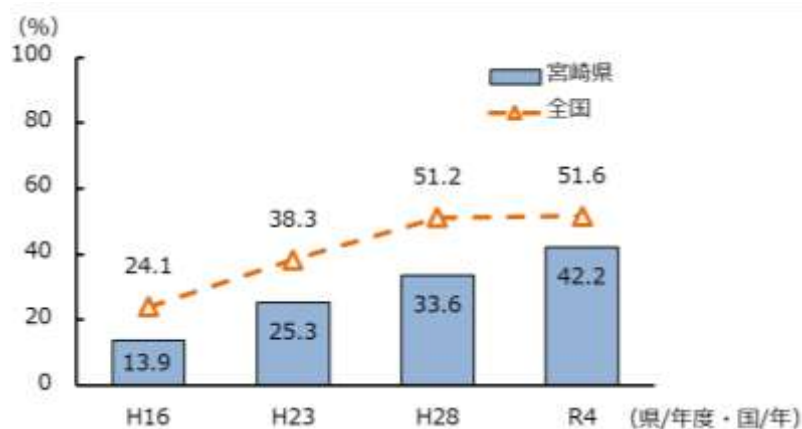


図 13 80 歳で 20 本以上の自分の歯を有する者の割合の推移

(出典) 宮崎県：県民健康・栄養調査（宮崎県健康増進課）

全 国：歯科疾患実態調査（厚生労働省）

※1 H16 年の 24.1% は H17 年の数字

※2 H16、23、28 年度は身体状況調査、R4 年度はアンケートによる聞き取り調査

※3 75～84 歳の平均

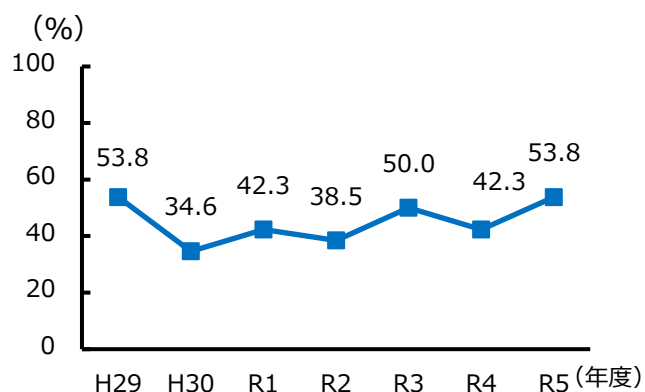


図 14 介護予防・日常生活支援総合事業における“口腔ケア関係”事業実施市町村の推移

(出典) 市町村歯科保健事業実施状況調べ（宮崎県健康増進課）

＜R6 年度に実施した主な事業＞

（1）事業所等への定期歯科健診推進事業（宮崎県健康づくり協会委託）

事業主や健康管理担当者への歯科保健意識の啓発、従業員等への歯科健診、歯科保健指導を行うことで、定期歯科健診実施事業所の増加を図りました。

- 事業所歯科健診の実施：1 企業（57 名）
- 研修会の開催：1 回（「令和 6 年度宮崎・小林地区安全衛生推進大会」内において実施：120 名）
- 協会けんぽメールマガジンへの掲載
- 定期歯科健診受診勧奨チラシ配布

(2) 妊産婦における歯科保健対策事業

■市町村妊婦歯科健康診査補助金

妊婦歯科健診を行う8市町への補助を行いました。

(宮崎市、都城市、延岡市、国富町、綾町、高原町、日之影町、五ヶ瀬町)

(3) 産科医療機関等従事者への歯科保健指導研修(宮崎県歯科医師会委託)

産婦及び生まれてくる子どもの歯の健康づくりに寄与するため、産科医療機関の関係者等に対する研修、啓発資料の作成・周知等を行いました。

■研修会の開催 1回

■妊婦歯科健診啓発リーフレット

「妊婦さんのための口腔ケア」作成、配布 21,000部

「赤ちゃんのためのむし歯予防ガイド」作成、配布 21,000部



(4) 高齢者のフレイル予防

通いの場等へ歯科専門職を派遣し、オーラルフレイル予防について普及啓発を行いました。

■「栄養と口腔からはじめるフレイル予防」パンフレット 7,000部

■出前講座: 11回



2 支援が必要な方への歯科保健の推進

障がい児者・要介護者

<課題>

- 地域で障がい児者を診療する協力歯科医師を増やす必要があります。

指標目標：障がい児者協力歯科医師の人数を増やす（R11年度までに100人）

- 定期的に歯科健診を実施している障がい児者施設及び高齢者福祉施設の割合を増やす必要があります。

指標目標：定期的な歯科健診を実施している障がい児者支援施設及び障がい児者入所施設の割合を増やす（R11年度までに90%）

定期的な歯科健診を実施している高齢者福祉施設の割合を増やす（R11年度までに90%）

- 施設職員が口腔ケア等の研修を受けている障がい児者施設及び高齢者福祉施設の割合を増やす必要があります。

指標目標：定期的に歯科医師、歯科衛生士による口腔ケアに関する研修会を実施している高齢者福祉施設の割合を増やす（R11年度までに90%）

- 在宅歯科診療を実施する歯科医療機関を増やす必要があります。

指標目標：在宅歯科診療を行っている歯科医療機関の割合を増やす（R11年度までに40%）

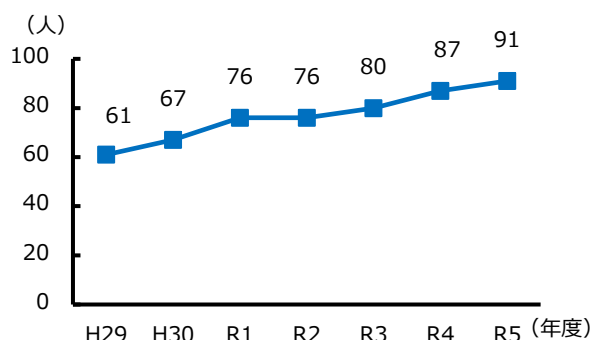


図15 県内の障がい児者協力歯科医師数の推移

（出典）障がい児者歯科保健医療推進事業（宮崎県健康増進課、宮崎県歯科医師会）

※宮崎歯科福祉センターが実施した障がい児者の歯科治療に関する研修を修了した歯科医師数（障がい児者を受け入れている歯科医療機関は上記以外にもあります。）

表4 宮崎歯科福祉センターの延べ患者数、全身麻酔法等の実績

年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
延べ患者数	11,348人	11,451人	11,229人	12,089人	12,802人	14,293人	14,515人
全身麻酔法	49件	47件	55件	61件	68件	81件	101件
静脈内鎮静法	258件	243件	204件	214件	218件	218件	209件

（出典）宮崎市郡歯科医師会 宮崎歯科福祉センター

表5 在宅歯科診療を行っている歯科医療機関の割合の推移（％）

年度	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
宮崎県	26.6	27.2	27.7	29.2	27.1	27.3	29.3	30.6

（出典）宮崎県歯科医師会調査

＜R6年度に実施した主な事業＞

（1）障がい児者歯科保健医療推進事業

障がい児者等が安心して歯科保健医療サービスを受けることができるよう、宮崎歯科福祉センターと連携して地域で障がい児者歯科診療を担う協力歯科医師等を養成し、歯科保健医療体制の整備を図りました。

① 協力歯科医師、歯科衛生士養成事業（宮崎県歯科医師会委託）

■研修会

開催日	内容	受講者数
令和7年 1月25日	講演 「歯科治療困難患者の理解と対応の概要」 講師 医療法人発達歯科会おがた小児歯科医院 理事長・院長 石倉 行男先生 講演 「宮崎歯科福祉センターの現状と紹介を成功させるポイント」 講師 宮崎歯科福祉センター 歯科診療部長 日高 幸一先生	36名
令和7年 1月26日	講演 「歯科治療困難者への臨牀的対応と力かりつけ歯科の役割」 講師 医療法人発達歯科会おがた小児歯科医院 理事長・院長 石倉 行男先生	18名

■実習

実施日：令和6年11月～令和7年1月

実施場所：宮崎歯科福祉センター、都城医療センター

参加人数：7名（歯科医師5名、歯科衛生士2名）

②歯科医療体制整備事業（宮崎市郡歯科医師会委託）

地域拠点歯科診療所（宮崎歯科福祉センター）と地域の歯科診療を担う歯科医療機関等との連携を図るとともに、歯科保健医療サービスの提供及び障がい児者歯科医療に携わる歯科医師等の資質向上を図りました。

■障がい児者施設等歯科健診：施設数：3施設、153名

（知的障害者総合福祉施設 向陽の里 もみのき寮、かしのき寮、すぎのき寮）

■研修会

開催日	内容	受講者数
令和6年 11月20日 (オンデマンド配信)	演 題：「一般歯科で取り組む医療的ケア児への訪問診療の実際」 講 師：日本障害者歯科学会 顧問 社会福祉法人 JOY 明日への息吹 理事長 緒方 克也先生	54 アドレス
令和7年 1月15日 (オンデマンド配信)	演 題：「小児・歯科恐怖症患者のう蝕管理と地域連携」 講 師：鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 発生活達教育学講座小児歯科学分野 教授 山座 治義先生	51 アドレス

■宮崎歯科福祉センター職員研修会

開催日	内容
令和6年 4月5日	演 題：「これからの障害者歯科について」 講 師：矯正・小児ひまわり歯科 院長 柿崎 陽介先生
令和6年 7月18日	演 題：「歯周病について」 講 師：はまだ歯科医院 院長 濱田 真人先生
令和6年 11月9日	演 題：「大規模災害時の対応について」 講 師：稲田歯科医院 院長 稲田 裕仁先生
令和6年 11月28日	演 題：「社会保険勉強会」 講 師：松永歯科クリニック 理事長 松永 昌之先生
令和6年 11月28日	演 題：「子供とメディア」 講 師：矯正・小児ひまわり歯科 院長 柿崎 陽介先生

③障がい児者歯科疾患予防事業（宮崎県歯科衛生士会委託）

障がい児者に対して、その状況に応じた支援を行い、歯科疾患の予防等による口腔の健康の保持・増進を図るとともに障がい児者に対する歯科診療、歯科保健指導に対応できる歯科衛生士の育成、確保を図りました。

■学校関係者並びに児童生徒に対する歯科保健指導：17回、参加者 416名

(みやざき中央支援学校、日南くろしお支援学校、小林こすもす支援学校、山田りんどう福祉、延岡しろやま支援学校高千穂校、しおみの里、ウィズ・ユー日南、ゆいまーる、合同会社エール、児湯るびなす支援学校、都城高千穂学園、さつき園、学童期療育相談・支援事業所いーずI、みんなの子ども園あるたす)

■障がい児者対応歯科衛生士の育成確保研修会

開催日	内容	受講者数
令和6年8月25日	演題 「障がい児者・障がい、疾患を知ろう」 講師 宮崎県歯科衛生士会 佐々木 美鈴先生	17名
令和6年10月20日	演題 「障がい児者が難民にならないために地域の歯科医院でできること」 講師 西国領歯科医院 副院長 西国領 俊子先生	34名
令和7年1月26日	演題 「安全に、おいしく、楽しく食べるために～食べる機能の発達を知ろう～」 講師 西国領歯科医院 副院長 西国領 俊子先生	28名

■リーフレット配布

■視覚支援媒体「歯みがきカレンダー」配布

(2) 介護施設等における口腔ケア等指導研修事業（宮崎県歯科医師会委託）

入所者等へ口腔ケアを行うとともに、施設等職員への口腔ケア指導を実施しました。

■実施回数：36施設、参加人数 1,460名

(3) 在宅歯科医療推進事業

高齢者・寝たきり者・障がい児者等に対する在宅歯科医療の普及向上に資するため、在宅歯科診療に取り組む歯科医療機関に対して、在宅歯科医療機器等の設備整備や人材育成の研修会を実施しました。

① 在宅歯科医療推進設備整備事業

■在宅歯科診療に必要な医療機器等の購入補助：14施設

(訪問診療車、ポータブルユニット、歯科用ポータブルX線装置 等)

②在宅歯科ネットワークの構築（宮崎県歯科医師会委託）

在宅要介護者の歯科医療と口腔ケアを推進するため、在宅歯科調整窓口を設置し、在宅歯科医療に関する相談業務や歯科訪問診療の調整、自宅や施設への訪問による歯科保健状況の把握などを行いました。

■調整窓口の設置：県内4か所（県央、県南、県西、県北）

■相談件数 77 件（うち歯科医療機関紹介件数：65 件）（件）

		医療機関		施設	その他 (市町村・保健所等)
		病院	その他		
県 央	相談	1 (1)	2 (2)	2 (2)	7 (6)
	訪問によるアセスメント	0	0	0	0
県 西 (都 城)	相談	2 (2)	0 (0)	7 (7)	13 (10)
	訪問によるアセスメント	0	0	0	0
県 南 (日 南)	相談	0 (0)	3 (2)	19 (15)	9 (7)
	訪問によるアセスメント	0	3	18	6
県 北 (延 岡)	相談	1 (1)	0 (0)	3 (3)	8 (7)
	訪問によるアセスメント	0	0	0	0

※（ ）は歯科医療機関につないだ件数

③在宅支援における歯科衛生士の復職支援事業

免許取得者のうち現在離職している者等を対象に、離職している背景や復職に際して望むこと等に関する相談会の開催や歯科衛生士の復職及び人材確保に係る研修会等を開催しました。

■復職支援相談会の開催（宮崎県歯科医師会委託）：1回

■歯科衛生士交流会の開催（宮崎県歯科医師会委託）：3回



■歯科医療機関管理者向け研修会（宮崎県歯科医師会委託）

開催日	内容	試聴回数
令和7年 2月～3月 (オンデマンド配信)	演題「令和6年度齲齦防止講習会」 講師 医療労務管理アドバイザー霧島人事総研 本嶋 有二郎先生	56回

■スキルアップ研修会（宮崎県歯科衛生士委託）

開催日	内容	受講者数
令和6年 5月19日	演題 「良い人間関係・信頼関係を構築するためのコミュニケーション」 講師 クーラデザインラボ 代表 瀧砂 勇二先生	23名
令和6年 9月8日	演題 「歯科衛生士ができる乳幼児期からの口腔育成」 講師 矯正・小児ひまわり歯科 歯科衛生士 青木 由美子先生 演題 「高齢者施設で歯科衛生士のできること～入所からターミナルまで～」 講師 社会福祉法人平成会特別養護老人ホームシルバースターうなまの里 歯科衛生士 川村 由紀先生	18名
令和6年 11月10日	演題 「職場のコミュニケーションⅡ～自分との向き合い、自分で決めるという働き方～」 講師 クーラデザインラボ 代表 瀧砂 勇二先生	15名
令和7年 1月19日	実習 印象採得（模型）、スケーリング（模型）、口腔機能低下症評価の仕方等 ア 講師 宮崎県歯科衛生士会会員	9名

④在宅歯科医療人材育成等事業

■歯科衛生士向け研修会（宮崎県歯科衛生士会委託）

開催日	内容	受講者数
令和6年 11月13日	演題 「在宅歯科医療での歯科衛生士の重要性」 講師 株式会社 シェルクレール 専任講師 松村 紀恵先生	36名
令和6年 12月5日	演題 「在宅歯科医療での歯科衛生士の重要性」 講師 株式会社 シェルクレール 専任講師 松村 紀恵先生	34名
令和7年 2月2日	演題 「嚥下機能訓練」 講師 土持歯科医院 院長 土持 賢一先生	28名

■宮崎県栄養士会との合同研修会（宮崎県歯科医師会委託）

開催日	内容	受講者数
令和6年 9月14日	演題 「在宅における口腔機能低下症に対する対応～ 診療報酬改定と高齢者虐待の話題をまじえて～」 講師 伊東歯科口腔病院 訪問診療部長 廣瀬 知二先生	45名
令和7年 1月12日	演題 「歯科医療機関における管理栄養士の役割」 講師 医療法人ピクトリア会 小野歯科医院 理事長 歯科医師 小野 清一郎先生 演題 「施設における多職種食支援について」 講師 公益社団法人 宮崎県栄養士会 理事 黒木 典子先生	41名

■在宅歯科医療推進研修会（宮崎県歯科医師会委託）

開催日	内容	受講者数
令和7年 1月16日	演題 「訪問歯科入門」 講師 宮崎県歯科医師会 理事 弓場 光泰先生 演題 「介護保険の活用」 講師 宮崎県歯科医師会 理事 野間 隆文先生	28名

⑤県民に対する周知啓発

- 在宅歯科啓発カレンダーの作成、配布 1,500 個
- 在宅歯科医療チラシ作成、配布 5,000 枚



3 医科歯科連携を推進するために必要な体制の整備

<課題>

- がん患者等の口腔ケアなどの医科歯科連携の必要性について、県民や医療関係者等への更なる普及啓発を図る必要があります。
- 医師、看護師、医療連携室スタッフ等に対して、がんや脳卒中、心血管疾患等の治療における医科歯科連携の必要性の理解を深めるため、研修会や検討会を実施する必要があります。
- 「宮崎県糖尿病発症予防・糖尿病性腎症重症化予防指針（第2期）」を参考に、糖尿病治療時における医療機関と歯科医療機関との連携を推進する必要があります。
- 医科歯科連携ができている病院数を増やす必要があります

指標目標：医科歯科連携ができている病院の割合を増やす（R11 年度までに 80%）

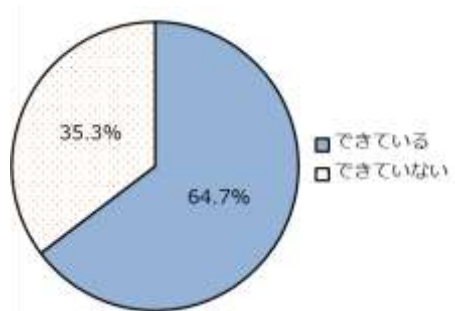


図 16 県内の医科歯科連携の実施状況（令和3年度）

（出典）令和3年度周術期を含む入院患者への口腔ケアに関するアンケート調査（宮崎県健康増進課）

※ できている：「できている」又は「ある程度できている」と回答したもの

＜R6年度に実施した主な事業＞

（１）地域医療支援病院等における医科歯科連携事業（宮崎県歯科医師会委託）

医科歯科連携を推進するため、調整窓口を設置し、地域医療支援病院やがん診療連携拠点病院等の患者に対して誤嚥性肺炎などの全身感染症や口腔内合併症を予防・軽減するための口腔管理を行い、患者のQOL（生活の質）向上を図りました。

■調整窓口の設置：県内４地区（宮崎、日南、都城、延岡）

相談件数：354件（うち歯科医療機関紹介件数344件）、口腔ケア：246件（件）

		医療機関			その他
		地域医療支援病院	がん診療連携拠点病院	その他	
県 央	相談	214 (214)	0 (0)	104 (103)	0 (0)
	口腔ケア	214	0	0	0
県 西 (都 城)	相談	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)
	口腔ケア	0	0	0	0
県 南 (日 南)	相談	0 (0)	0 (0)	35 (27)	0 (0)
	口腔ケア	0	0	32	0
県 北 (延 岡)	相談	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	口腔ケア	0	0	0	0

※１（ ）は歯科医療機関につないだ件数

※２つないだ歯科医療機関からの派遣、調整窓口からの派遣のいずれも含む

■研修会

開催日	内容	受講者数
令和6年 11月9日	演題 「がん口腔支援医療 最近のトピックス、エビデンス」 講師 国立がん研究センター中央病院 歯科医長 上野 尚雄先生	50名
令和7年 2月1日	演題 「GO TO デンタルー歯科医院で救える命があるー」 講師 東京歯科大学 名誉教授 口腔外科 客員教授 柴原 孝彦先生	53名

■連携会議、ケース検討会等：32回

4 災害時の歯科保健医療体制の整備

<課題>

- 特に要介護者、障がい児者等の要配慮者においては、誤嚥性肺炎や口腔機能低下のリスクが高いことから、口腔ケアなどのオーラルフレイル予防を行う必要があります。
- 平時から、災害時におけるオーラルフレイル予防や歯・口腔の健康保持の重要性について普及啓発を行う必要があります。

<R6年度に実施した主な事業>

(1) 災害時の口腔ケア推進事業（宮崎県歯科医師会委託）

災害発生時に速やかに歯科保健医療活動を行うことができる支援体制を整備するため、関係団体と連携を図るとともに関係者に対する研修会を開催しました。

開催日	内容	受講者数
令和7年 2月19日	講師 株式会社モモセ歯科商会 渡邊 真悟先生 演題 「デキシコ取り扱い説明」 講師 警察歯科及び災害時対策会議 副委員長 後藤 大先生 演題 「災害時の歯科保健について」	40名

5 歯科口腔保健を担う人材の確保・育成

<課題>

- 近年の高齢化に伴う訪問歯科診療における口腔健康管理のニーズの増加や介護施設等との連携による口腔ケアの推進、病院等との連携による周術期口腔健康管理の推進、フレイル予防など、歯科保健医療の新たなニーズが高まる中、それに対応できる資質の高い歯科衛生士の養成及び確保が必要です。
- 歯科衛生士の不足は全国的な課題となっており、本県においては、人口10万人あたりの歯科衛生士数は全国値を上回っているものの、歯科診療所における歯科衛生士が不足しています。

<R6年度に実施した主な事業>

(1) 歯科保健指導者研修会

市町村、保健所等の指導者を対象とする研修会を開催することで、歯科保健活動のより一層の向上を図りました。

開催日	協議内容	参加者数
令和6年 11月19日	行政説明 宮崎県における歯科保健の現状と取組 講演 「歯科保健と食育」 ～自然に健康になれる食環境づくり 「くらしき3ベジプロジェクト」、他職種や関連団体との連携～ 講師 倉敷市保健所健康づくり課食育推進係 主幹（歯科衛生士） 家守己恵子 先生 講演 「子どもたちが上手に噛める・食べられる・呼吸できるように」 講師 医療法人育成会矯正小児ひまわり歯科理事長 柿崎陽介 先生	50名

(2) 歯科専門職種の資質向上事業

歯科保健医療サービスを円滑に提供するため歯科医師、歯科衛生士等の歯科専門職種を対象に研修会を開催し、資質向上を図りました。

■研修会

開催日	内容	受講者数
令和6年 12月7日	演題 「院長から始める防ぎ守る歯科医療 ～歯科医院を輝かせる予防システム～」 講師 大阪大学名誉教授 歯学研究科特任教授 天野 敦雄先生	67名

3) 歯科医療従事者養成学校設備整備事業

歯科衛生士、歯科技工士の教育内容の充実、質の高い医療を提供できる人材を育成・確保するために必要な実習用ユニット、ICT 環境の整備を行いました。

■実施施設数：2校

※宮崎歯科技術専門学校：実習用歯科ユニット4台

※都城デンタルコアカレッジ：ガス滅菌器等1台、高圧蒸気滅菌器1台

6 総合的な歯科保健対策の推進

「宮崎県歯・口腔の健康づくり推進条例」及び「第3期宮崎県歯科保健推進計画」に基づき、8020運動の積極的な普及啓発、および具体的な施策の普及を行った。また、歯・口腔の健康づくりに関する施策を総合的に推進することにより、県民の皆様の保持増進に寄与することを目的とし、歯・口腔の健康づくりの推進強化を図りました。

<R6年度に実施した主な事業>

(1) 歯科口腔保健推進強化事業

① 8020運動推進強化事業

ライフステージごとの特性を踏まえた歯科保健対策の推進、定期歯科健診の普及を図りました。

- 妊産婦における歯科保健対策事業 補助金（再掲）
- 妊産婦における歯科保健対策事業 研修会（再掲）
- フッ化物先口技術支援事業（再掲）
- 事業所への定期歯科健診推進事業（再掲）
- 介護施設等における口腔ケア等指導研修事業（再掲）

② 歯科保健対策推進体制強化事業

■ 歯科保健推進協議会の開催

県民の生涯にわたる歯・口腔の健康づくりに関する施策を協議しました。

開催日	協議内容
令和6年 10月31日	1 報告 (1) 「第3期宮崎県歯科保健推進計画」の概要について (2) 「第3期宮崎県歯科保健推進計画」の指標項目とデータの推移等について (3) 令和5年度宮崎県の歯科保健事業の実績及び令和6年度の取組 2 協議 (1) 第3期宮崎県歯科保健推進計画達成に向けた取組について

- 歯科専門職種の資質向上事業（宮崎県歯科医師会委託）（再掲）
- 歯科保健指導者研修会（再掲）

■地域歯科保健推進協議会の開催

県保健所において地域の歯科保健の実態把握と課題解決を図るため、協議会を開催しました。

保健 所名	開催日	内容
中央	令和6年 6月27日	(1) 講話「第3期歯科保健推進計画及び県内の状況について」 講師：宮崎県健康増進課 主幹 森木大輔 (2) 管内のフッ化物洗口100%を目指した取組について ①フッ化物洗口の導入について ②各機関の歯科保健の取組状況について
日南	令和6年 7月3日	1 報告 (1) 健康みやざき行動計画21（第3次）の推進 (2) 第3期宮崎県歯科保健推進計画の策定 ～地域に期待すること～ 2 協議 協議会の取組 ～日南串間地域でオーラルフレイル対策をすすめるためには～ (1) 講話「オーラルフレイルについて」 (2) 意見交換
都城	令和6年 11月12 日	1 報告 (1) 宮崎県の歯科保健の取組について (2) 都城保健所管内の歯科保健の現状について 2 議題 (1) 都城市・三股町におけるフッ化物洗口の取組について (2) 成人期における歯科保健事業の取組について ・歯周疾患検診について ・妊婦歯科健康診査事業について 3 その他 (1) 令和5・6年度都城保健所歯科保健推進研修会の報告について
小林	令和6年 10月31 日	1 報告 (1) 宮崎県歯科保健推進計画（第3期）について (2) 宮崎県の歯科保健の現状と取組について 2 協議 (1) 幼児期・学齢期の歯科保健事業の取組について (2) 成人期の歯科保健事業の取組について
高鍋	令和7年 1月9日	1 報告 ア「第3期宮崎県歯科保健推進計画について～宮崎県の歯科保健の現状と取組～」 イ 高鍋保健所管内の歯科保健の状況について ウ 各所属における歯科保健活動の取組と課題について 2 協議 議事：乳幼児期・学齢期における歯科保健の取組について ア 保育所及び認定こども園におけるフッ化物洗口の取組について イ 小・中学校におけるフッ化物洗口の取組について

日向	令和6年 12月2日	1 報告 (ア) 県内・管内の乳幼児期と学齢期の歯科保健の現状と課題について (イ) 令和6年度歯科保健推進研修会について 2 協事 (ア) 令和5年度歯科保健事業の取組と評価・重点課題、今年度の取組について (イ) 情報提供
延岡	令和6年 10月15日	(1) 令和5年度歯科保健に関する現状及び事業実績報告 (2) 令和6年度延岡市の歯科保健推進に向けた取組
高千穂	令和7年 2月14日	報告 (1) 宮崎県における歯科保健の現状及び取組について (2) 西臼杵郡における歯科保健の現状について (3) 各町・各団体における令和5年度歯科保健活動の報告及び令和6年度の取組について 議事 各町・各団体における歯科保健推進に関する課題と今後の取組案 (幼児期、成人期、高齢期)

■地域の課題解決に向けた研修会の開催

県保健所において地域の歯科保健の課題解決を図るため、研修会を開催しました。

保健所名	開催日	内容
中央	令和6年 9月25日	講演：「子どものう蝕予防に関する研修会」 講師：健康増進課 佐竹 あすか 実演：フッ化物洗口実施園によるデモンストレーション
日南	令和6年 12月4日	1 行政説明「健康みやざき行動計画21（第3次）～高齢者の栄養・歯の健康～」 2 シンポジウム テーマ 【フレイル対策で支援者ができること～楽しむ食事と口腔ケア～】 (1)「オーラルフレイル対策 ～家族を巻き込んだ意識付け～」 たばた歯科クリニック 田畑 綾乃氏 (2)「高齢者の元気は食事から！食事を長く楽しむためにできること」 日南市立中部病院 栄養科 倉岡 李奈氏 (3)「デイサービスでの実際の関わり」 デイサービスセンター クラシヤスむつみ 西村 美香氏
都城	令和6年 8月27日	演題：「高齢者のフレイル予防のための栄養と口腔機能」 講師：女子栄養大学 教授 新開 省二 氏 演題：「オーラルフレイルの予防と口腔ケアの実践」 講師：宮崎県歯科衛生士会 歯科衛生士 赤木 より子氏
小林	令和6年 10月26日	演題：「災害対応と地域連携について」 講師：宮崎県歯科医師会警察歯科及び災害時対策会議 副委員長 後藤 大氏
高鍋	令和7年 1月16日	講演「フッ化物洗口について」 講師 宮崎県口腔保健支援センター 主幹 森木 大輔

	令和7年 1月30日	講演「フッ化物洗口の説明にかかるポイント」 講師 宮崎県口腔保健支援センター 主幹 森木 大輔
日向	令和6年 8月8日	①日向保健所説明「管内の幼児期・学齢期の歯科保健の現状」 説明者：日向保健所 健康づくり課 鎌田 香織氏 ②講演「学齢期のむし歯予防・歯周疾患予防について～子どものむし歯ゼロ、 歯周疾患ゼロを目指して～」 講師：宮崎県健康増進課 主幹 森木 大輔
延岡	令和6年 12月19日	①演題「フレイル予防のための栄養管理・食事内容について」 講師 延岡保健所 管理栄養士 大西 宣子主任技師 ②講演「高齢者のオーラルフレイルへの対策～摂食・嚥下等の口腔機能の維持・向 上のための口腔ケア～」 演習「高齢者のオーラルフレイル改善のためのお口のトレーニング」 講師 北浦歯科医院 院長 林 正太郎先生
高千穂	令和6年 12月20日	行政説明 1 健康みやざき行動計画21（第3次）～フレイル予防のための栄養管理～ 講師：高千穂保健所健康づくり課 主任技師 大西 宣子 2 第3期宮崎県歯科保健推進計画～健康は、歯と口腔の健康から～ 講師：宮崎県健康増進課主幹 宮崎県口腔保健支援センター長 森木 大輔 講演 1 最期までお口で食べていただくために 講師：宮崎県歯科衛生士会 歯科衛生士 甲斐 きくえ 氏 2 食べることの障害について 講師：介護医療院神楽苑 言語聴覚士 佐藤 圭 氏

■歯科疾患等調査研究事業

- ・学校における歯科疾患等実態調査
- ・市町村歯科保健事業実施状況調査
- ・フッ化物洗口実施状況調査
- ・歯科疾患実態調査



■県民向け公開講座（宮崎県歯科医師会委託）

開催日	内 容
令和6年 12月8日	講演「食べることは生きること～健口と幸福寿命、不健口と日本人の死因～」 講師 大阪大学名誉教授 天野 敦雄先生

■よい歯のコンクール（宮崎県歯科医師会委託）

開催日	内 容
令和6年 6月9日	<ul style="list-style-type: none"> ・図画・ポスターコンクール 県教育長表彰各1名（ほか） ・標語コンクール 県教育長表彰1名（ほか） ・親と子のよい歯のコンクール 知事表彰1組（ほか） ・高齢者のよい歯のコンクール 知事表彰1名（ほか）

■いい歯の日キャンペーン事業

「いい歯の日（11月8日）」を含む期間に、県民に対して歯と口の健康づくりの積極的な普及啓発を図りました。

（イベントの開催：イオンモール宮崎・イオン延岡：令和6年11月3日（日））



<内容>

- ・歯と口の健康グッズ（歯ブラシ、デンタルフロス、キシリトールガム等）1,000 個
- ・チラシの配布
- ・クイズラリー、フォトブースの設置（イオンモール宮崎のみ）
- ・プレゼントキャンペーン

歯科医療機関を受診しキャンペーンに応募した方の中から抽選で20名に電動歯ブラシ、50名様にQUOカードPay1,000円分をプレゼントするもの。

■定期歯科健診等普及啓発：ポスター：300 枚



■高齢者のフレイル予防（再掲）

■宮崎県庁ホームページ等による情報発信

県庁ホームページ、宮崎県口腔保健支援センターフェイスブック、みやざき健康ライフ等において、歯と口の健康づくりに関する情報を発信しました。



県口腔保健支援センターフェイスブック



公式Instagram（宮崎県健康 life）

（２）口腔保健支援センター運営事業

宮崎県口腔保健支援センターにおいて、歯科保健事業の総合窓口として関係機関と連携し、「宮崎県歯科保健推進計画」に基づく歯科保健事業の企画及実施、県民や関係者への情報提供、関係者の研修、調査・研究等を行いました。

- 歯・口腔の健康づくりに関する総合窓口
- 歯・口腔の健康づくりに関する知識の普及啓発等の企画・立案及び実施
- 市町村、庁内関係各課・保健所に対する専門的支援
- 定期歯科健診の推奨
- 障がい者等歯科健診等の取組の推進
- 歯科疾患予防の推進
- 調査・研究の推進
- その他、歯・口腔の健康づくりの推進に関する業務

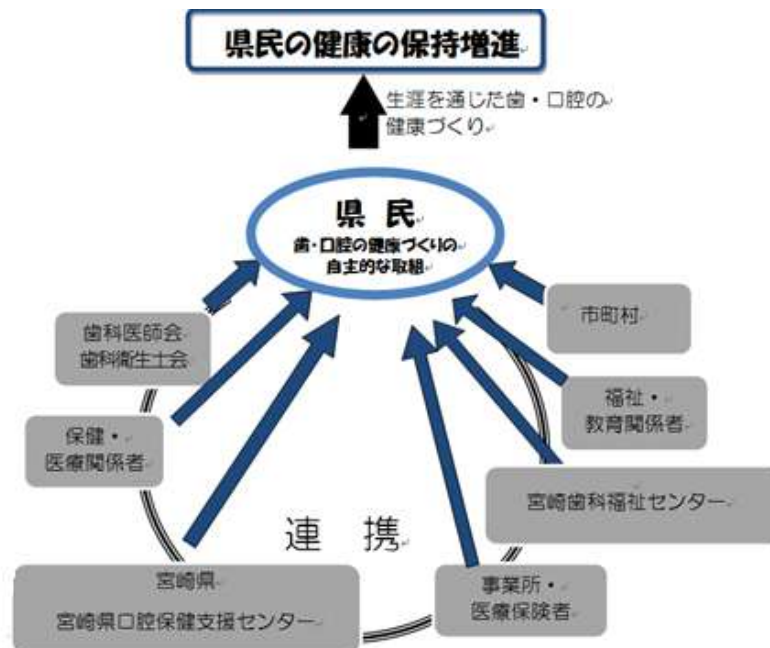


図 17 推進体制